

[気象・海況] 水温は高め、雨量多く日照不足

- 水温 10月中旬から11月中旬まで20℃前後で約1か月停滞していましたが、ようやく17℃後半まで降下してきました。10カ年平均より1℃高め。
- 栄養塩 充分量
- 沖合水 黒潮が房総半島に接岸しています。強い波及は今のところありませんが、水温降下を妨げる要因になっています。
- 降水量 曇雨天が多く、11月下旬は平年比400%

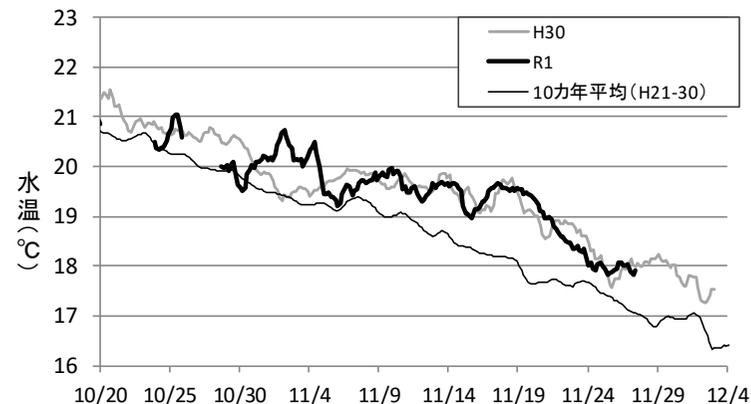


図1 新富津漁場(観測ブイ)の表層水温の推移

[養殖状況] 病気拡大中！！

○新富津から下洲の漁場では「疑似しろぐされ症」が発生

漁場の広範囲で疑似しろぐされ症が発生しており、蔓延防止のため使用不能網の撤去も進められています。

水温20℃前後の長期的な水温停滞、及び日照不足等によるノリ芽の活性低下により感染発症したと思われます。

○木更津地区では「あかぐされ病」が発生

河川に近い漁場ほど発生が広がっています。ここ数日の降雨に伴う塩分低下に加えて、支柱柵ではノリ芽が乾燥しないことで拡大したと思われます。

[今後の留意点] 活性処理の徹底！！ 蔓延防止のため使用不能網は撤去！！

- 疑似しろぐされ症は細菌、あかぐされ病はカビの仲間の感染で引き起こされます。つまり、この二つの病気は、病原菌に感染することにより発病し、かつ伝染性を有します。
- 従って、使用不能網を漁場に放置することで病気が蔓延する可能性があるため、使用不能網は速やかに撤去してください。
- 異常がみられない網や症状が軽微な網でも感染防止のため定期的な活性処理により病原菌を駆除してください。
- あかぐされ病の病原菌は乾燥に弱いので、張り込みの段線を高くするなどの対策も講じてください。